



ぜひご家庭でもお読みください

夢を力に変える人 No.8

## 病気と闘う全国の子ども達へ「こども時間」を届けたい

特定非営利活動法人  
日本クリクラウン協会



- 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成対象団体レポート
- とっても身近な社会貢献! 書き損じハガキ 寄付プログラム
- グループ従業員の ボランティア活動レポート

ソーシャルグッツ 読者プレゼント 詳細は裏表紙へ



阪急阪神ホールディングスグループ

### こちら事務局

基金ご参加の皆さまへ 応援したい市民団体に一票を!  
「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」  
選考アンケートにぜひご回答ください(1月中旬送付)

皆さまの募金を積み立て、会社からの同額寄付と合わせて阪急阪神沿線の市民団体を助成する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」。8回目となる今年度の公募には、66団体からの申請をいただきました。ゆめ・まち基金にご参加の方には、1月中旬に選考アンケートをお送りします。アンケートで高評価の市民団体は、本選考で加点しますので、ぜひご回答ください!

なお、本選考における従業員代表は次の方々です。

阪急電鉄 広報部/花森由起子さん  
阪神電気鉄道 建設・環境統括部/木村貴志さん  
阪急阪神エクスプレス グローバル統括本部 総務人事部/岸本真一さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は随時、皆さまのご参加お待ちしております!

※詳しくは、ページ下部のホームページの「従業員向けページ」をご覧ください。



助成プログラム審査の流れ

- 12月1日(木) 事務局による書類選考
- 1月中旬 基金参加者アンケート送付
- 2月2日(木) 基金参加者アンケート締切
- 2月15日(水)・16日(木) 会社・従業員代表による本選考
- 3月末 助成実施

### 寄付先からのメッセージ ネパール大地震復興支援 活動・現状報告

2015年4月25日に発生したネパールの大地震。およそ9千人が亡くなり、負傷者は2万人超。住宅等では60万棟以上が全壊…。地震から1年半以上が経過したネパールの現状について、国際協力NGOの「シャプラニール=市民による海外協力の会」(\*)からのメッセージが届きました。\*2015年のゆめ・まちチャリティ古本市で実施した「ネパール支援募金」の寄付先です。

#### 活動報告 \ ご支援ありがとうございます!

約20年間のネパール支援で培ったネットワークを活かし、被災者支援に取り組みました。

#### ①地震直後 [生き延びるための支援に注力]

食糧・毛布等の配布

#### ②復興初期～現在 [生活を取り戻すための支援へ]

仮設住宅の資材配布、共有の水場の設置、被災者に情報を伝えるコミュニティラジオ局の再開支援、不安を一人を抱えないためのコミュニティスペースの運営

#### ネパールの今

食糧等の緊急支援段階は終了し、海外の援助機関の多くはネパールを去りました。しかし、住宅等の生活基盤の復興は進んでいません。シャプラニールは復興支援活動を続けていきます。ぜひ、引き続き皆さまのお力をお貸しください!



2016.8復興が進まぬネパール市街地

#### 寄付をしたい!もっと情報を知りたい!と思った方は…コチラ

特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会  
[https://www.shaplaneer.org/lp/campaign\\_nepal2016/](https://www.shaplaneer.org/lp/campaign_nepal2016/)

### 阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)  
shakai@hankyu-hanshin.co.jp  
TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174  
URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>  
\*グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



ソーシャルグッツ 読者プレゼント



5名様にプレゼント

### 地震イツモマニュアル



阪神淡路大震災や東日本大震災の経験を踏まえて生まれました。

#### 読んだ日から実践できる防災

「イツモの暮らし」が「備え」になる、そんな目からウロコの防災対策マニュアル。震災における基礎知識をはじめ、段ボールを使った家具の転倒対策や食料を循環させながら備蓄するローリングストック法など、今日から実施できる防災情報がたっぷり詰まっています。また難しく考えがちな防災の知恵が、イラストとともに解説されているため、子どもにも分かりやすく家族揃って読むことができます。この一冊で防災対策をもう一度見直してみませんか。

出版社/ポプラ社  
編/地震イツモプロジェクト  
監修/NPO法人プラス・アーツ  
価格/1,188円(税込)

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「本プレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2017年1月31日(火)

#### 編集後記

取材でクリクラウンの病院訪問に同行しましたが、こんなに心揺さぶられて考えさせられたのは初めてでした。現場に行くことで感じる重み…特集記事をぜひ一読ください!(相良有希子)



新メンバーの式部です。担当となり半年。日常のなかで楽しく取り組める社会貢献活動が数多くあることを知りました。「無理なく続けられること」を増やしていきたいです。(式部加那子)



#### 「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは

「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組む当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索



# 夢を力に 変える人

No.8



特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

## 病気と闘う全国の子ども達へ 「子ども時間」を届けたい

クリニックラウンとはクリニック(病院)を舞台に活動するクラウン(道化師)のこと。入院中の子ども達を訪ねて、コミカルなやり取りや遊びなど、普段の闘病生活とは違った時間をプレゼントする笑顔のプロフェッショナルである。

くパイオニアとして活動を続けてきた。「やはり最初は多くの病院で難色を示されまして。外部の人間が病棟に入るなんて、ましてやエロの格好で...とね。けれど百聞は一見に如かず。実際に訪問すると必ず、また来てほしいと言われます。そうやって少しずつ信頼の輪を広げてきました」

**な** ゼクリニックラウンは短時間でこども達の心を魅了するのだろうか? 秘密はクリニックラウンの精神にあるのだと石井さんは言う。「まず、こどもと対等だと心から思えること。遊びたいから来たのか、遊びにきてあげたのかを、こども達は敏感に見抜きますから。そして、無邪気な心だけでなく、大人の思慮深さも兼ね備えた存在であることです」。厳しい現実を目の当たりにする医療現場でもクリニックラウンが明るく大らかでいられるのは、高い人間力に支えられているからなのだ。

この境地に至る道は簡単ではない。パフォーマンス技術だけでなく、自分と向き合い、欠点を含めて自分をまるごと受け入れる。トレーニングが必須なのだとか。「自分をちゃんと受け入れていないと、拒否されたら辛くなっちゃう(笑)。こども達にもイヤとか、キライって言える自由がなくちゃ。ただでさえ辛い治療を我慢しているんですから。クリニックラウンの役割は単に笑わせるのではなく、日々耐えているこども達が、ひとときでもこどもらしい時間を取り戻すお手伝いをするんです」



⑥パフォーマンスを見せるといより一緒に遊ぶように誘導。「こども達をお客さんにしてはいけません。あくまで彼らの積極性や好奇心を動かすのが目的です」⑦病室だけでなく、プレイルームでこども達と関わることも。⑧毎年8月7日に開催する「RED NOSE DAY」は、赤い鼻をつけて笑顔の輪を広げるチャリティイベント。⑨石井裕子さん。現役のクリニックラウンかつトレーナー。愛称はトンちゃん。⑩クリニックラウンの伊佐常和さん。愛称はポリタン。「やるほどに奥が深く、自分自身も成長できるのがクリニックラウンです」⑪事務局の熊谷恵利子さん。「医療現場に触れるほど、クリニックラウンの必要性を実感します。活動が長く続くように広報や啓発にも力を入れています」⑫これまでに訪問した病院は66カ所。その活動範囲は全国に広がっている。



①兵庫県立尼崎総合医療センターでの打ち合わせ。病室訪問の前には念入りに病棟スタッフとの打ち合わせを行う。順番を確認したり、「ちょっと長めに関わった方がいい子はいますか?」などの質問も。②感染の媒介者にならないことが鉄則。道具や衣装をしっかりと消毒するのも、訪問前のルール。③クリニックラウンの象徴、赤い鼻をつけたら気持ちにスイッチが入るのだとか。④病院の廊下では、すれ違う患者さんやスタッフみんなに明るく挨拶。クリニックラウンが現れただけで、病棟の雰囲気が一気に和むから不思議だ。⑤クリニックラウンは入院中のこども達だけでなく、保護者の心も癒やす。「入院生活が長引くと親御さんも疲れてしまいます。重く緊張した病室の空気を、私達が和らげることができれば。最近では親御さんが心待ちにしてくださるんです」

### 訪問先病院

(2005年11月~2016年3月)

東北・北海道 7病院

中部・北陸 7病院

近畿 23病院

関東 17病院

中国・四国・九州・沖縄 12病院

### 特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会

「寄付をする」「会員になる」「関連イベントに参加する」という支援方法があります。協会の活動に興味がある方はウェブサイトの「支援の方法」をご覧ください。

〒530-0053  
大阪市北区末広町3-11天しもビル3B  
TEL : 06-4792-8716  
E-mail : info@cliniclowns.jp  
H P : http://www.cliniclowns.jp

**ク** リニクラウンの養成期間は約1年。自分と向き合うのはもちろん、病気のこどもを訪問するにあたっての多彩なトレーニングがある。相手に恐怖感を与えないコミュニケーションの取り方や病室でのマナー、そして繰り返すロールプレイ。そんな試練を乗り越えて、協会に所属するクリニックラウンは現在24名。多くのメンバーはふだんは自分の仕事を持ちながら、ボランティアで全国の病院へ出かけている。昨年度は34病院を訪問し、のべ7,622名のこども達と関わったという。

それでもクリニックラウンが広く認知されるにはまだまだ遠い、と石井さん。「例えばオランダでは8~9割の小児医療施設にクリニックラウンが週1回訪問しています。日本にこの文化を根づかせるには、もっと啓発活動が必要だし、人材育成にも力を入れなければ。もちろん私自身もライフワークとして続けますよ。モチベーション? 来てくれてありがとう、と言ってくれるこども達の笑顔が何よりのご褒美です」

**小** 児科の入院病棟にハーモニカの音が響く。陽気な音楽と共に現れたのは、赤い鼻とカラフルな衣装の2人組。クリニックラウンのトンちゃんとポリタンだ。おどけた動作で、誰彼となくヤッホーと声をかけながら、病室を訪問していく。「こんにちは。遊びに来たよ!」ベッドに横たわる長期入院のこども達は、最初はちょっと不安そうだったり、体調が悪いのかぼんやりと無反応だったり...。けれど2人のユーモラスなやり取りや、パペットや血回しなどのパフォーマンスに少しずつ瞳が輝き出す。やってこらんと渡された血回しの棒を持つ頃には、誰もが笑顔で夢中になる。「驚いたなあ、笑っているよ!」とあっけにとられるドクター。「あんな笑顔、初めて見ました!」と涙ぐむ看護師さん。まるで魔法をかけたように病室の空気がガラリと変わるのだ。

**ク** リニクラウンは闘病中のこどものために病院を訪問する臨床道化師である。発祥地のオランダでは病院で当たり前前に活動する存在だが、日本での歴史は浅い。「2004年、オランダ総領事館の働きかけで初めてクリニックラウンが来日しました。その圧倒的な効果に驚いた関係者が、翌年に日本クリニックラウン協会を設立。ボランティアで病院訪問をしていた私にも声がかかったのです」と語るのは現役クリニックラウンであり人材育成も担当する石井裕子さん。石井さんはクリニックラウンを日本の医療現場に浸透させるべ



series  
68

## 大山崎の歴史と文化を、内にも外にもアピール。



わがまちを  
ささエール!

←6ページに  
会員のインタビュー  
が掲載されています

大山崎町は、豊臣秀吉と明智光秀が戦った山崎合戦で有名な天王山をはじめ、数多くの名所や遺跡を擁する町。「大山崎ふるさとガイドの会」では、その魅力に富んだ歴史や文化を訪れた人に紹介する観光ガイドボランティアを会員が行っている。

観光客からの郵送やFAXによる申込みに応じて、会員は大山崎町歴史資料館をはじめとした観光名所を案内する。また、同会はより良いガイドをするための研鑽にも熱心で、学習会や現地見



同行ガイドにより、若い世代にも郷土愛を育んでもらう取り組みも行っている。

### 大山崎ふるさとガイドの会

住 所：〒618-0071  
大山崎町大山崎竜光3  
大山崎町歴史資料館内  
T E L：075-952-6288  
U R L：http://www.kyoto-ofg.org/

学会も開催し、会員のスキルアップに努めている。

加えて、観光客だけでなく地域住民に地域の魅力をアピールすることにも積極的だ。地域の人々向けにもガイドを行うほか、近隣の学校や老人福祉施設などで大山崎の歴史や昔話を紙芝居形式で紹介する「出前ガイド」も行っている。さらに山崎城の遺構整備や散策路の標識増設にも取り組み、地域の活性化に貢献。内外に地域の良さを伝えることで、我らがふるさとを支えているのだ。

series  
69

## 多文化な背景を持つ子ども達が「違うこと」に自信を持てるように。



みんなちがう  
みんないい。



コミュニティサロンでは各種イベントも実施。子ども達に色々な体験の機会をつくらせている。

### ワールドキッズコミュニティ

住 所：〒653-0052 神戸市長田区  
海運町3-3-8たかとり  
コミュニティセンター内  
T E L：078-736-3012  
E-mail：kids@tcc117.jp  
U R L：http://tcc117.jp/kids/

外国にルーツを持つ子ども達の増加にともない、様々な問題が浮き彫りになりつつある昨今。日本語の不自由な親元で十分な言語教育が受けられず、子どもが学習やコミュニケーションに大きなコンプレックスを持ってしまいうケースもある。ワールドキッズコミュニティは、多様な背景を持つ子ども達が「違い」に気後れすることなく自らのアイデンティティを確立し、可能性を伸ばせるようサポートしている団体だ。例えば誰もが安心して集えるコミュ

ニティサロンを運営したり、映画やラジオ番組の制作などの表現活動で自らのルーツを見つめ直したり、一緒に食卓を囲んだり…。「自分にとっては第2の家のようなもの」と、団体の活動に参加した子ども達は言う。いつでも受け入れてくれる「居場所」があり、そこで健全な自己肯定感を育むことができる。そんなホームを見つけた彼らが「違い」を「元気」に変え、豊かな地域コミュニティを創ってくれることが、団体の願いだ。

series  
67

## 障がいのある子ども達のICT機器を使った「できる!」体験を支援

スマホやタブレットなど、ICT機器※はもはや現代人にとって不可欠なツール。そのICT機器を使って、障がいのある子どもの自己表現や困りごとの解決を支援するのが、「支援機器普及促進協会」である。

自身のお子さんも障がいがあるという、理事長の高松崇さん。「ICT機器を使って子どものために何かできないかと思ったんです。私たちも、スマホに道を教えてもらうなど、ICT機器に助けられている。障がいの支援も同じで、便利な機器を上手く使えるようになればいいのでは、とひらめいたんです」

団体ではICT機器の貸し出しとともに、簡単な操作方法をレクチャーしている。例えば肢体不自由なら指を使わない音声入力で、文字が使えるようになる。発達障がいでも字が読めなくとも、読み上げソフトを使えば宿題ができる。それぞれの障がいに応じた方法で子ども達は機器を使い、「うまくいった!」という成功体験が得られると、どんどん上達していくそう。高松さん「触ったり話したりすると機器が反応するから、自然と使い方を覚えていくんです。覚えなきゃ、という訓練ばさばさが先立つと子どもはしんどくなってしまうので、ゲーム等を上手に取り入れて、楽しんでいるうちに自然と練習ができていく状況を作っています。うちの子もiPadを使って自分でかな文字を覚えたんですよ」

これまで支援学校を中心に活用方法の普及を進めてきたが、今後は一般の小中学校での活用にも力を入れたいと高松さん

は言う。「2016年に『障害者差別解消法』が施行され、障がい者にとって障壁となる物事を取り除くための合理的配慮が求められています。ですが、障がいのある子どもが学校で機器を使っていると、特別扱いのように見られがちです。眼鏡や補聴器と同じような生活補助のツールだという理解を広めていきたいです。ICT機器によってできることが増えると、将来の就業での選択肢も広がるはず。子ども達の可能性をもっと広げることが目標です」

※ICTはInformation and Communications Technologyの略で、情報通信技術のこと。この団体では、タブレットPCなどのICT機器を活用している。



「今後は障がいのある子ども達自身が開発したアプリの導入も視野に入れています。」と高松さん。

### 特定非営利活動法人 支援機器普及促進協会

団体では、活動内容に賛同・支援していただける会員を随時募集中です。詳細は下記の公式サイトにてご確認ください。

T E L：050-3632-0981(事務局)  
E-mail：info@npo-atds.org  
U R L：http://npo-atds.org/  
事 務 所：長岡京市



# グループ従業員の ボランティア活動レポート



**ガールスカウト兵庫県 第66団/宝塚市**

団員が少なくなり活動費にも限りがある中、支援金で活動の幅が広がっています。

阪急電鉄 大藤 恵代さん



**茨木郡VBC /茨木市**

支援金を試合の参加費に活用。低学年の子ども達にも出場機会ができました。

阪急バス 中林 学さん



**尼崎市中央南地区子ども連絡協議会/尼崎市**

子どもが主体の行事を通じ、協力や譲り合いなどの社会性を養っています。

阪神電気鉄道 浜 武雄さん

2016年度 vol.4

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。



**別所ファイターズ /三木市**

少人数ながらも一生懸命に野球に励む子ども達のために支援金を有効活用しています。

阪急阪神電気システム 鳴瀬 裕信さん



**東Genkix /茨木市**

小学生女子のキックベースボールチームです。ボランティアでコーチをしています。

阪急電鉄 佐々木 孝治さん



**立花ジュニア /尼崎市**

少年野球を通じて健全な心身の発達と、部員間の親睦を高めることを目的に活動しています。

阪急阪神ビルマネジメント 鷹尾 賢司さん



**グループN-BUN /大阪市**

大阪市を中心に視覚障がい者や身体障がい者用の音訳図書を制作しています。

阪急電鉄OB 山下 豊さん

ふるさとの歴史にふれて、もっと好きになりました。大山崎ふるさとガイドの会/乙訓郡大山崎町



平成7年に大山崎町で開講された「ふるさと案内人養成講座」。その受講生が集まってボランティアガイドによる観光案内活動をスタートしました。現在、会員は67名。町内の史跡を参加者と一緒にはったり、歴史資料館をガイドしたり。天王山の登山案内もします。全国から訪れる人々との出会いが、この活動の醍醐味。質問されてわからないことは勉強するので、自身の成長にもつながるんです。

阪急タクシー 加藤 良一さん



→4ページに団体の紹介記事を掲載しています

## 市民団体の活動参加のススメ

### File 19 遊子庵まちや塾を開催

室町御池の築130年の町家で伝統文化に楽しく触れてみませんか? これまでも豪華な講師陣を招いて、装束講座や京菓子講座などを開催。「入口は遊び、出口は文化」がモットーです。詳しくはHPをご覧ください。



過去のプログラムの様子

講師：柴桂子(NHKカルチャーラジオ講座講師)  
テーマ：伝統と今をつなぐ〜江戸期おんな表現者に学ぶ〜  
日時：2017年1月18日(水) 19:00〜(2時間程度)  
参加費：2,000円(お弁当付き) 定員20名  
場所：遊子庵(京都市中京区室町通御池上ル御池之町305)

お問合せ先：遊プロジェクト京都(京都市)  
TEL: 080-6209-0797 Mail: info@yuproject.com  
URL: http://www.yuproject.com/

### File 20 つながりの中で育てよう! 地域親子クラブ「tomtom」

日替わりの遊びを楽しめる未就園児の親子向けの交流の場です。子ども同士も親同士も仲良くなれる環境で、地域の友達づくりを始めましょう!



場所：①小野原多世代地域交流センター ②箕面市立第四中学校開放教室 ③ブニカ カフェ ※いずれも箕面市  
日時：①毎週木曜10:00〜11:45  
②第1・3・4火曜10:00〜11:30  
③第3金曜10:00〜11:45  
参加費：いずれも1回600円

お問合せ先：NPO法人 はんもっく(箕面市)  
TEL: 072-723-0254 Mail: hammock\_minoh24@yahoo.co.jp  
URL: http://minoh-hammock.jimdo.com/

# とっても身近な社会貢献! / 書き損じハガキ寄付プログラム



回収期間：2016年12月22日(木)～2017年1月31日(火)

書き損じてしまったハガキ、余ってしまった年賀状…  
いらなくなったハガキを、ぜひ会社にお持ちください!  
職場に設置された回収ボックスに入れるだけで、子ども達を支援する寄付に変わります。身近でできるボランティア、ぜひご参加ください!

個人情報は必ず塗りつぶしてください



## 回収場所

- ①阪急電鉄各施設(本社・各操車・各管区長所在駅など)
  - ②阪神電気鉄道各施設(本社・各列車所・各駅長室など)
  - ③阪急交通社各拠点(新橋・青葉台・大阪・名古屋・福岡事務所)
  - ④阪急阪神エクスプレス各事務所
  - ⑤阪急阪神ホテルズ各ホテル(第一ホテル東京、大阪新阪急ホテルなど)
- 他グループ各社約200ヵ所

## 寄付先：特定非営利活動法人 MAMIE

様々な障がいのある子ども達を対象とした学習塾を運営。勉強のサポートはもちろん、パソコンなどのスキルを教えることで、進学や就職を支援しています。聴覚障がい者の生活をサポートする「聴導犬」を広める講演活動などにも力を入れています。

※ゆめ・まち基金 第4回助成先。



## 特別企画! 寄付先のイベントを体験してみよう! 「10分でわかる補助犬のお仕事」

グループ従業員ならどなたでも参加可!

今回の回収ハガキの寄付先「MAMIE」の活動の一部を覗いてみませんか? 聴導犬のレオンくんが登場し、聴覚障がい者のパートナーとしてのお仕事を紹介します。イベント会場では普段のお仕事で使える手話講座も開催します。ランチタイムの10分間、ぜひお立ち寄りください!

協力団体：(特非)MAMIE、(特非)essence、(特非)日本補助犬情報センター

日程	時間	会場
1/17(火)	11:30~13:30	阪神電気鉄道本社ビル 10Fホール
1/19(木)	※随時受付	阪急電鉄本社ビル 1F エコルテホール

※当日は名刺・社員証などご所属とお名前がわかるものをお持ちください。

阪神会場では、阪神手話コミュニケーション部による活動紹介やコミュニケーションアプリの紹介もあります

体験いただいた方にはフェアトレード商品等が当たるガラポン抽選会も!

ハガキ回収ご協力や特別企画に参加すると、社会貢献ポイント5ポイントを進呈します!

申請書は「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」HP<従業員ページ>の「TOPICS」欄よりダウンロードできます。  
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/group.html> (ユーザー名・パスワードはともに8984)  
※2月末までに申請してください。 ※期間中、申請はそれぞれ1回限り有効です。